

等、土地整理課の指導、正ヶ敷に於ける工場、セントパキアデー
ブー同等の植養への指導等、秋の読書同等の全支部の
参加、金月に於ける工場及同の指導する青年組合の擴大等はこれ
を説明するものとする。

二、青年の教育

本日の青年の事について見ても、福地地方に於ける農村青年の教
育は漸次に盛んになり、貧農青年の大部分は小學校を卒業すると
同時に労働に従事せられる。好まぬ出で働く青年は割合は早くか
ら夜はあそび遊樂場と共に休むことなく働かされしかもロクローカ
小賣場も買入るものなど、三四年前迄は資本家の所屬物よと被擧
上して工場に使出³²されてゐた農村の青年も今日では民間も
もめなり、それどころか今日ではハナ取り紙の後にムササビに青
園下取りり用されトヤリと雇はしてゐる。其他農業、日傭、馬車
引、養蚕等の仕事も次第に少くなり今日では多数の貧農青年が失業、

失業の憂慮である。中農青年の失業、半失業も事可成の年数
不上である。労働に従事してゐる青年の教育は又ひとくちには
あつてゐる。工場労働者の教育から工場に出でゐる者は割合
は高、工場労働者の教育は二層もある程度を自給車、被食て
運動し働くなど、八十歳の賃銀しかも八割の賃。農村にある
小工場に働く者の自給車は一月二十歳三十歳と百五の労働代はも
星の賃金を賃銀しつゝあつてゐる。

本日の事柄を説明するに於てある農村の労働青年は一つは文化
進歩も彼等のものとして³³あつてゐる。本日の文化の進歩は
は進んでゐる。貧農青年の大部分は農村に労働教育を受けた後か
りである。教育によつて労働教育を受けたものは農村に労働教育
青年同様に加入させられて教育を受けてゐる。本日の教育は
中々トロープの文化を維持する為め労働教育以外のものもあつては
ない。文化の進歩は労働者の労働と共に受用され、海外進出、軍